

【北海道岩見沢東高等学校】文理探究科（学際領域学科）（令和7年度設置）

学校での主な取組

目的

・外部の機関等の協力のもと、学際的、複合的な最先端の学問分野の知見に基づく探究的な学びに取り組むことにより、予測困難なこれからの社会の持続・発展に寄与する知識、技能、態度を身に付けた生徒を育成する。

・総合的な探究の時間や学校設定科目を核としたカリキュラムマネジメント及び教育プログラムの開発に取り組むことにより、地域の期待に応える高校づくりを進めるとともに、本道における普通科新学科校のモデルとなる。

GANTOゼミ

（総合的な学習の時間）

台湾探究研修旅行

（文理探究科1年）

データサイエンス講座

（学校設定科目「探究基礎」「探究応用」）

学校コーディネーター

14の機関による  
コンソーシアムの構築

【自治体、地元企業、大学、専門学校、国際機関等】

- ◆ 生徒に必要な資質・能力を育成するための最先端の学び、高度な学びをコーディネートしたり、連携・協力を進める上での助言を受けたりすることができる組織。
- ◆ 関係各界で活躍する本校同窓生の協力も得て、構成組織以外にも幅広く多くの連携・協力先を開拓する。

目標

- ◆ 予測不可能なこれからの社会の学際的、複合的な課題に対応し、社会の持続的な発展に貢献するための知識、技能、態度を身に付けた生徒の育成

- ◆ 日本や世界の諸課題を発見し解決に向けて行動し、社会に貢献しようとする生徒の育成

取組状況

【探究的な学び・国際理解教育の充実】

- ・ GANTOゼミ
- ・ 台湾探究研修(文理探究科)
- ・ オーストラリア研修(2年)
- ・ BRIDGE構築事業(道教委事業)
- ・ 校外コンテストへの出場

【地域・関係機関との連携】

- ・ コンソーシアム構築
- ・ 岩見沢市・北海道大学との「親子会議室」の開催
- ・ 卒業生・外部講師による各種講演

【新学科の周知】

- ・ 学校、中学校、地域等での説明会
- ・ 学校ウェブページ運営

成果

**教育課程：**再編統合に伴う3つの教育課程の併置、及び学校設定科目「探究基礎」の実施による探究的な学びの充実  
**設置者、外部有識者等からの指導・助言の活用：**道教委開催運営指導委員会による業務・取組の定期的な検証及び継続的な改善  
**情報発信による周知：**学校ウェブページ、報道機関等への記事掲載による、道内外への取組の周知  
**地域・関係機関との連携：**中学校、学習塾等での説明を通じた地域からの一定の評価、及び協力体制の構築  
**学校コーディネーターの継続：**P T Aからの支援による学校コーディネーターの任用

課題（今後の取組の方向性）

成果発表会の形骸化：開催のみを目的とした会の運営  
 → 生徒の課題意識・問題解決意識を高める指導  
 教職員の負担：探究学習における指導教員の負担増加  
 → 業務分担の工夫、早期の計画立案  
 組織体制の最適化：「総探委員会」の機能の改善  
 → 校内組織体制の継続的な見直し  
 外部評価の充実：校外からの声を効果的に取り入れる工夫  
 → 学校説明会における体験的な説明など

## 【愛知県立惟信高等学校】地域社会学科（令和7年度設置）

### 【設置の目的及び特色・魅力ある教育の概要】

地域に根差した探究活動を通して「実践力」と「自立型思考力」を育み、  
自分・地域・日本・世界の未来を切り拓く力を育成する

### 【本事業の前提】

- ・既存の普通科も含めた学校全体の改善に向けて取り組む
- ・「総合的な探究の時間」の取組を基礎として、その上に学校設定教科を発展的に展開する2階建て構成とする

### 【新設学科「未来探究科」における学校設定教科】

#### 「探究実践」（各学年1単位）

地域との連携に重点をおいて、社会人として自立し、活躍できる人間力の育成する

#### 「学び探究」（各学年1単位）

学びの本質を追求することで学問の真の面白さを感じ、学びに向かう主体性を育む

### 【関係機関との連携・協働体制】

#### 〈コンソーシアム〉

名古屋市港区役所 名古屋市港防災センター  
名古屋市港区社会福祉協議会 NPO法人藤前干潟を守る会  
松栄運輸株式会社 高木学区町内会 本校同窓会

#### 〈運営指導委員会〉

愛知県教育委員会 愛知淑徳大学教育学部准教授  
名古屋市港区高木学区区政協力委員長 名古屋市立宝神中学校長  
矢野建設株式会社代表取締役社長 NPO法人ライズエイジア代表理事

### 【令和7年度の目標】

#### 事業進行のための土台作り

- ・事業の目標を教員間で共有

#### 「総合的な探究の時間」の充実

- ・生徒主体の活動を充実
- ・フィールドワークの実施

#### カリキュラムの研究開発

- ・新学科のカリキュラム開発
- ・学校設定教科の年間指導計画の作成

#### 授業改善研修の充実

- ・生徒の主体性に重点を置いた授業の実施

### 【取組状況】

- ・探究推進部による事業実施
- ・教員研修の実施
- ・訪問取材の実施
- ・成果発表会の実施
- ・惟信マルシェ（地域との合同発表）の実施
- ・新学科経営戦略の作成
- ・学校設定教科の年間指導計画作成
- ・通年での授業改善研修を実施（授業参観、公開授業、研究等）

### 【成果と課題】

#### 成果

- ・校内組織編成、探究推進部組成
- ・生徒主体型「総合的な探究の時間」の各学年での実施
- ・新学科のカリキュラム開発、授業細案の作成
- ・全教職員による授業改善の通年実施



授業風景



成果発表会



惟信マルシェ

#### 課題

- ・「総合的な探究の時間」の系統的、段階的な内容の検討
- ・新学科の特色化・魅力化
- ・授業改善に向けての研修の充実
- ・研究指定終了後に向け、自走できる体制の構築

# 【愛知県立美和高等学校】地域探究科（地域社会学科）（令和7年度設置）

地域と自分の**美**しさを知り 人と人の**和**の力で 未来を拓く生徒を育む

“**美和高** **Makes Innovators with Neighbors Dramatically**”  
～地域とともに未来を革新する人材を育てる～

## 【地域探究科設置の目的及び特色・魅力ある教育の概要】

地域と協働し、生徒を軸とした地域活性化に取り組むとともに、生徒の物事を肯定する力と不安定な時代を生き抜く力を育み、地域の未来の担い手を育成するカリキュラムを編成すること。

七宝焼のように 7つの輝く資質・能力の育成します

課題発見力 情報活用力 問題解決力 対話力 実践力 思いやり 豊かな人間性

美を知る1年生

和をつくる2年生

未来を拓く3年生

総合的な探究の時間(12単位) 探究活動

探究活動

学校設定科目(6単位) フィールドワーク

フィールドワーク

教科等横断的な学び 教科を横断した探究活動の基礎となる知識

## 【令和7年度の目標】

### ★地域探究科の開設

- ① 地域探究科の設置
- ② カリキュラムの運用開始
- ③ 地域と連携した授業の実践
- ④ 地域のニーズを把握する機会の継続

### 【取組状況】

#### ➡ ① 地域探究科の設置

- ・令和7年度4月設置済
- ・新入生入学（定員40名を充足）



探究活動の様子

#### ➡ ② カリキュラムの運用開始

- ・総合的な探究の時間4時間
- ・学校設定科目2時間
- ・週あたり計6時間の探究活動実践
- ・大学と連携したプログラムを運用



市役所訪問

#### ➡ ③ 地域と連携した授業の実践

- ・テーマごとに地域の関連機関と連携
- ・地域から講師を招いて講座を実施
- ・成果発表会への地域住民の参加

#### ➡ ④ 地域のニーズを把握する機会の継続

- ・地域連携センター（美和高マインド）を通してのコンソーシアム会議の継続
- ・授業の打合せや成果発表会の機会に地域からの意見を集約



歴史探究  
成果発表会

## 【関係機関との連携・協働体制の構築方法】

令和7年度  
年3回のコンソーシアム会議  
年2回の運営指導委員会

【運営指導委員会】  
外部有識者  
愛知県教育委員会 等

コンソーシアム会議



指導・助言

美和高等学校

地域で学ぶ機会を提供

高度な学びの機会を提供

【コンソーシアム】あま市・大治町等  
市役所 商工会 社会福祉協議会  
NPO法人 教育委員会  
中学校 小学校 観光協会 等

【コンソーシアム】東海地区の大学  
愛知大学 名古屋文理大学  
星城大学 名古屋学院大学 等

## 【成果と課題】



地域行政探究



歴史探究



観光探究



七宝焼講座

### 成果

全国的な知名度が決して高くはない地域で地域資源をテーマとして探究を実施する中で、**高校生に興味と主体性をもって探究させるプログラム**を組み立てることが、今年度の大きな課題であった。本校の教育活動を深く理解し、積極的に協力を申し出てくださいる地域住民や連携機関・大学の力を借り、全てのテーマにおいて**地域及び大学から講師を派遣**いただき、**成果発表会にも同席**いただくことができた。地域住民と直接交流する機会をもてたことは、これまで興味のなかった分野のテーマにおいても、**高校生の積極性**を引き出すのに十分な効果があったようである。地域行政や伝統工芸品など難易度の高いテーマにおいても、活発に探究する姿が見られた。

探究活動に取り組む中で**興味が沸き、将来地域の発展に関わりたい**という生徒が複数出てきたことが、今年度最大の成果であったと考えている。

### 課題

全てのテーマで地域や大学と連携するため、打合せや連絡を取り合う時期が重複し、諸手続きが煩雑になる場面があった。校内・校外の**連絡体制を整えていく**ことが今後の課題である。また、連携する地域や大学との相互利益につながる探究活動となるよう、各機関と相談しながら**プログラムを随時更新**していくことも必要である。

# 【滋賀県立伊香高等学校】地域社会学科（令和7年度設置）

新学科  
コンセプト

滋賀県北部地域の豊かな自然環境、森林資源などを活用し「森で学ぶ」をコンセプトに、生徒の「生きる力」を地域とともに育む

培う  
資質能力

人や地域と協働し  
新たな創造に向かう  
課題解決力

自己の思いを伝えながら  
他者の多様性を理解する  
コミュニケーション力

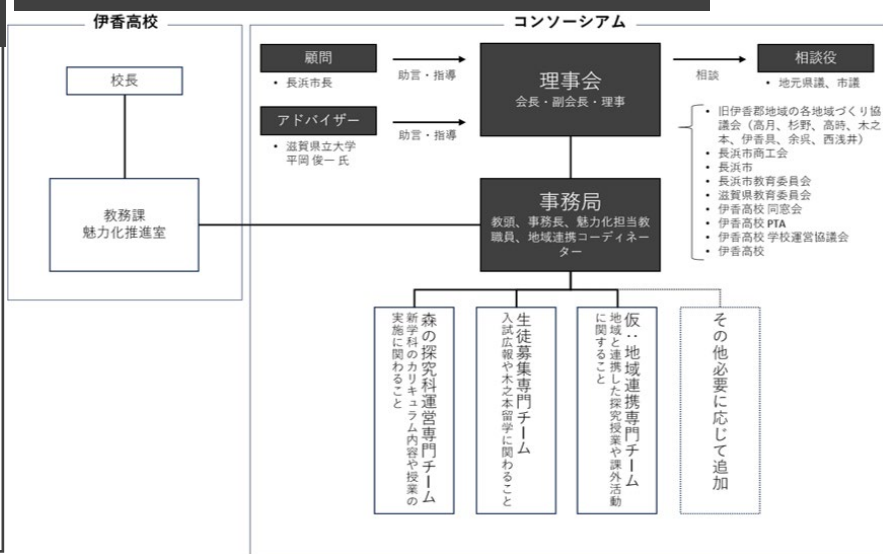
夢を描き  
進路目標を実現する  
自己実現力

未知の困難に柔軟に対応し  
あきらめない  
レジリエンス力

## 令和7年度の 目標

- 専門家や関係機関と連携し、県北部ならではのつながりをもった学びの実施
- コンソーシアム理事会と専門チーム会議の開催
- 県内に加え、県外に向けた広報活動の推進
- 生徒による取組や学びの積極的発信

## 関係機関との連携・協働体制の構築方法



## 令和7年度の成果と課題

### 成果

- 「森のキホン」では地域の専門家や関係機関と連携し、森・川・里・湖がつながる県北部ならではのつながりをもった学びを実施
- 地元企業や市等の担当者からカリキュラム実践について意見を伺うと共に、県外募集に向けて県外自治体や事業者の視察を実施
- 地域探究を行う魅力的なカリキュラムの開発を目的として、類型での授業や「総合的な探究の時間」の中で様々な活動を実施
- コンソーシアム理事会にて新学科の取組状況について情報共有すると共に、森の探究科運営専門チーム会議、生徒募集専門チーム会議を開催
- 季刊発行の「伊香高通信」を4回作成し配布、学校の日常風景をSNSにて発信、「新学科PRチラシ」「下宿先サポーター募集チラシ」等の発行、関西万博（関西パビリオン）出展
- 県内中学生向けの広報活動に加え、全国募集の広報活動を実施、広報活動は「森の探究科」在籍生徒が自身の取組や学びを積極的に発信

### 課題

- 今年度の学習内容を次年度以降の学びに活かせるような授業内容のブラッシュアップ
- 学校設定科目と他教科との横断的な連携について検討
- 地域探究の学びを校内での共有に留めず、社会へ直接発信する仕組みを強化し、生徒の社会参画意識を高める
- コンソーシアム参画団体とのコミュニケーション、コンソーシアムと学校運営協議会の役割の明確化
- 教員・コーディネーターの関わる業務が増え、範囲も多岐にわたるため、役割分担と注力分野を決める
- 取組継続のための仕組みづくり

## 令和7年度の実行状況

- 学校設定科目「森のキホン」の実施および2年、3年のカリキュラム作成における関係機関訪問
- 地域をフィールドとした探究的な学びの実施  
「地域の人々や文化的資源」「生徒の興味関心や進路希望」を掛け合わせた魅力的なカリキュラムの開発
- 「地域と伊香高のミライ創造コンソーシアム」理事会と専門チーム会議の開催
- 先進校等の視察（学びの実装化、学校を核とした地域創生）
- 県内中学生・保護者・中学校向け広報活動の実施  
県内中学校への新学科資料配布・湖北、湖西地域の中学校への訪問広報誌、SNSを用いた新学科PR・新学科の取組について発表 等
- 伊香高等学校魅力化シンポジウムの開催

# 【滋賀県立守山北高等学校】地域社会学科（令和7年度設置）

## 新学科 コンセプト

「地域をフィールドとした学び」と「ウェルビーイング」を柱に、多様性を尊重し、他者と協働しながらよりよい地域の未来を創造する

## 培う 資質能力

「人を想う心」を大切に、  
多様性を尊重する

自尊感情を育み、自らの  
個性や能力を存分に発揮する

起業家精神にあふれ、地域の課題  
解決に向け、自ら考え行動する

豊かなコミュニケーション能力を  
備え、他者と協働しながら  
地域の未来を創造する

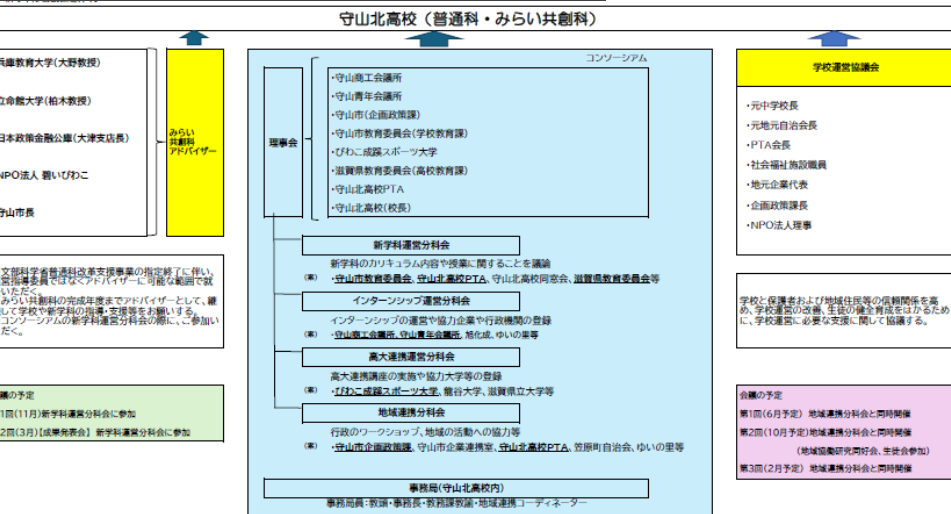
## 令和7年度の目標

- カリキュラムマネジメントを実施
- 2年次を見据えた試行モデル授業の実施
- コンソーシアム理事会および分科会の実施
- 広報活動の推進

## 令和7年度の実施状況

- カリキュラムマネジメントの実施
- みらい共創II（2年次）を見据えた試行モデル授業の実施
- 地域と連携した探究的な学びによる成長のデータ化
- 「地域と守山北高のみらい共創コンソーシアム」の本格始動
- 学校パンフレットの全面リニューアル
- 地域協働研究同好会の設置
- 滋賀経済産業協会加入企業との意見交換会を実施
- 広報戦略として新たに公式Instagramを設置
- 先進校視察および県外からの視察校の受け入れ
- 探究学習の専用ルーム「MORIKITA BASE」の本格活用

## 関係機関との連携・協働体制の構築方法



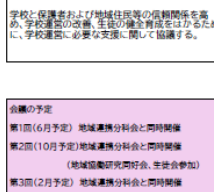
## 令和7年度の成果と課題

### 成果

- 「みらい共創科」での学びだけでなく、総合的な探究の時間「もりきた学」、進路支援「キャリアデザイン」を系統立てて取り組めるよう、カリキュラムマネジメントを実施し、学校のキャリア教育推進体制を構築
- 2年生就職希望者を対象に実践型インターンシップを試行実施し、事前学習から実地体験、リフレクションまでを行うとともに、「みらい共創II」カリキュラムの検討を行った
- 総合的な探究の時間では学校独自のルーブリックを活用した自己評価、みらい共創科は定量評価アプリ「Ai-GROW」を導入  
「社会への関心」の顕著な伸びがみられた他、1年生は「共感力」や「協働力」の高まりがあった
- 体験入学時の学校紹介では、みらい共創科の取組や総合的な探究の時間の実践、また生徒による成果発表を行うなど、従来の学校紹介をブラッシュアップ
- 昨年度作成した「学校改革プラン」を、年度当初の分掌会議で活用し、重点目標を設定1月には総括の会議を実施し、各分掌における達成度や検討課題を共有できた
- 地域協働研究同好会の設置により、授業の枠に収まらない課外活動を充実させたことで、生徒の自己肯定感や有用感を高めたり、地域と接する機会を増やしたりすることにつながった
- コンソーシアム理事会に加えて、地域連携分科会、企業連携運営分科会を開催するなど、具体的な活動に着手

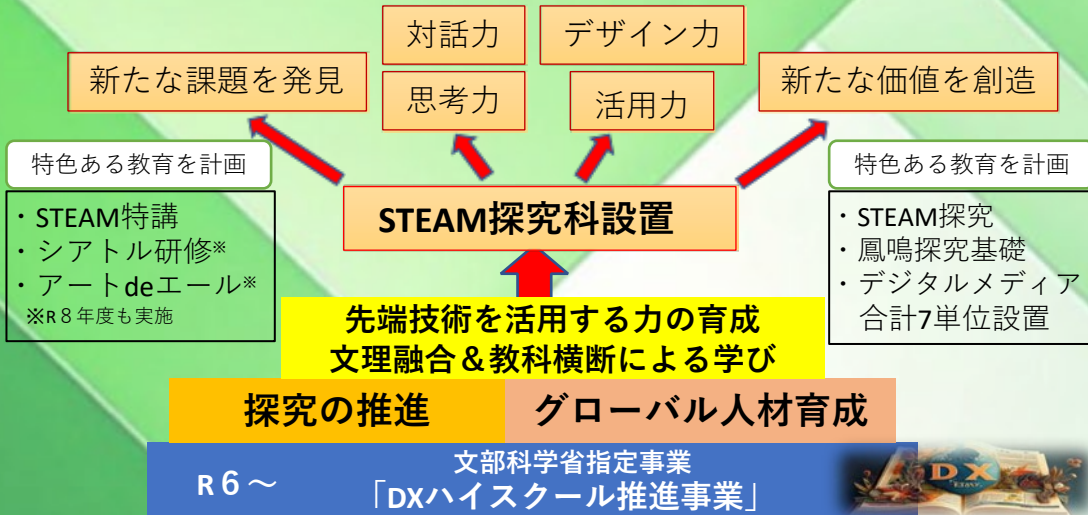
### 課題

- 「みらい共創科」や総合的な探究の時間の学びを単発のものにしないよう、教育方針やビジョンを全教員で共有しながら進め、学校全体の取組にしていく
- 高校生に対する地域社会の期待が大きく、地域の連携先と丁寧なヒアリングをしながら進めることが必要
- 大学入試の総合型選抜を受験する生徒の増加を想定した、学校内体制の整備が急務
- インターンシップ受入先の確保や学習としての位置づけ、学校内の運営体制の整備など仕組みづくりが必要
- コーディネーターが担ってきたノウハウの一部を教員へ継承していく
- 取組継続のための仕組みづくり



# 【兵庫県立篠山鳳鳴高等学校】STEAM探究科（令和6年度設置）

## 学科設置の目的と育成を目指す能力



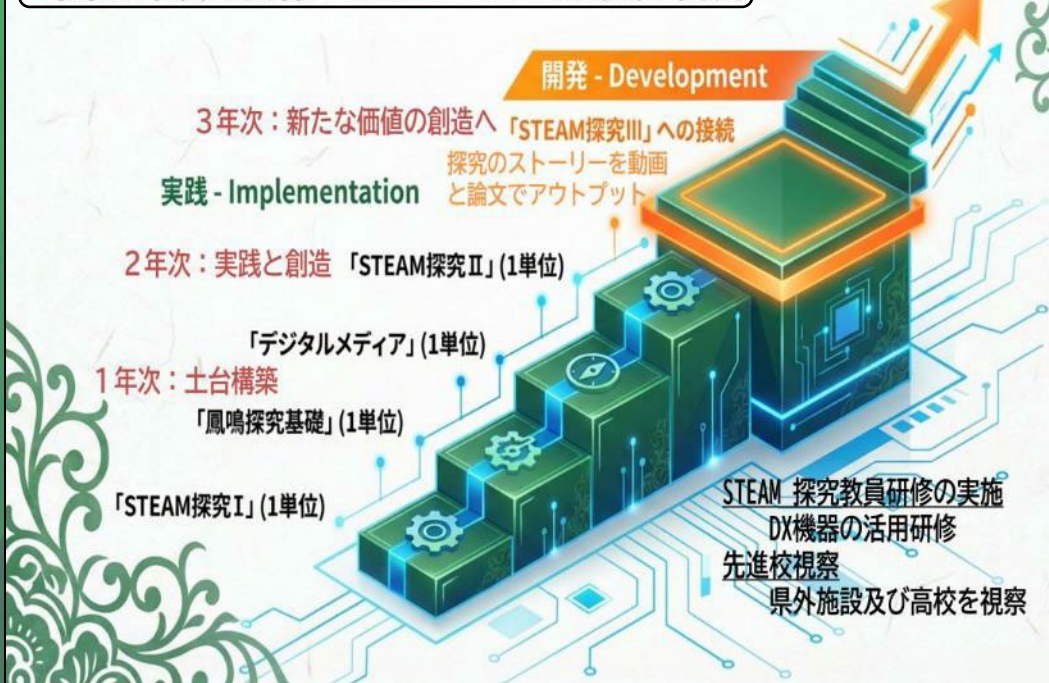
## 連携体制の充実

### 令和7年度連携

教育・専門知・運営の三位一体



## 令和7年度の目標：カリキュラムの実践と開発



## 成果と課題

### 生徒の変容

- ・探究プロセスの習得
- ・AI（生成AI）の活用と情報リテラシー
- ・多角的な視点と自己成長

### 課題

- ・デザイン力の育成
- ・STEAMの視点

国際交流バスツアー

全校生による探究Dayの開催

シアトル短期語学研修

探究のプロセスの振り返り

技術の活用

新たな課題

成果と考察

データ分析

情報収集

課題発見

基礎知識、技能

試作、検証

新たな仮説

仮説

アートdeエール  
価値観の創造

西はりま天文台なゆた望遠鏡見学



# 【兵庫県立姫路飾西高等学校】STEAM探究科（令和6年度設置）

## STEAM探究科

Beyond the Border Quest  
自分の固定概念を取り払う文理の枠を超えた探究活動

文理の枠を超えた学びを通して、俯瞰的視野、課題解決力、論理的思考力、主体性、創造性等を育成する。

**目指す生徒像**  
実社会やこれからの時代に想定される課題を見出し、文理の枠を超えた複眼的な視野や柔軟な発想で、他者と協働して課題解決や新たなシステム、価値を創造できる主体的な生徒を育成する

**特色**

- ・ホンモノに触れる（最先端技術・シンガポール・神戸研修・起業家教育）
- ・最新機器の利活用
- ・プレゼンカの強化
- ・企業・社会より課題解決法を探る
- ・教科横断型授業・英語による発表
- ・企業とのコラボ探究 (You me×モノ語り)

## STEAM教育を学校全体に普及するシステムの構築

DXハイスクール

STEAM探究科

普通科

地域・社会

コンソーシアム

コーディネーター

- ・コンソーシアムを中心として、外部関係機関との連携を行う。
- ・生徒のワクワクを軸に探究活動を行うため、連携先は変化し続けている。
- ・運営指導委員より、学校全体の取り組みについて指導助言を頂き、アップデートしている。
- ・校内では、STEAM教育を普通科にも普及していくために、探究推進部を中心に、コーディネーターやコンソーシアム運営委員と連携している。

## 令和7年度 ~飛翔~ さらになる高みを目指して

**目標**  
STEAMの考え方を全校生へと広げ、より深い探究活動に取り組む  
STEAM教育を学校全体に普及するシステムの構築

**取組状況**

- ・AR技術研修会  
meleap社 HADO  
LTF社 FarmBot
- ・生徒主体の企業連携 (旭陽化学工業(株))
- ・プログラミング体験
- ・講演会  
「趣味(好き)を仕事に」(デジタル・水産・映像)  
「ものづくりとまちづくり」(紙管活用)
- ・生成AI研修会【※DX推進事業】
- ・ニュースポーツ(ハンギョボール)
- ・最先端技術体験
- ・My プロジェクト
- ・グリノロジー

- ・ワークショップ  
大阪・関西万博いのちの遊び場 クラゲ館
- ・You me×pro
- ・大学訪問
- ・探究テーマごとのフィールドワーク
- ・研修会  
「地域貢献とアントレプレナーシップ」  
「企画書の作成 ARTについて」(デザイナー・起業家)
- ・教科横断型の探究活動
- ・英語で表現
- ・ブレインストーミング
- ・名詞×名詞で問いづくり
- ・大きな問いを小さな問いへ

**成果**

- ・探究活動を中心に地域や公民館・小学校との連携深化
- ・社会や地域が良くなるシステムの提案と検証が実施できた
- ・SDGsなどの課題解決への取組増加
- ・各種発表会外部コンテスト等への積極的な参加 (STEAM探究科全グループ参加)
- ・他校との探究活動を通しての交流実施 (釧路湖陵高校)
- ・本校で探究活動に力を注ぐことを目的に入学した生徒の増加
- ・問いを立てられる・探究活動に満足している生徒の増加

**課題**

- ・本校の探究活動をさらに充実させるため、コンソーシアム運営委員会の再構築
- ・普通科とSTEAM探究科の探究活動の差異を埋めるため、教育課程の編成見直し
- ・生徒の進路(キャリア)と探究活動を結びつけるための、学校組織編成
- ・生徒の主体性を育み、普通科生にとっても魅力的な学校行事を設定する。
- ・探究活動をさらに充実させるため、資金調達の枠組みを作成
- ・年次横断・縦断したカリキュラムの実施
- ・企業や大学とのつながりを強化・他校参加の探究成果発表会
- ・連携先が増え続けたときの組織的な連携方法の確立
- ・探究活動について、教職員への研修実施



## 【広島市立美鈴が丘高等学校】グローバル探究科（令和7年度設置）

学校教育目標:校訓「進取 友愛 節度」のもと、高い志を持ち、変化の激しい社会において、自らの未来を切り拓き、「地域共生社会」の担い手となる人材を育成する。  
 育成を目指す資質・能力:地域や社会の課題を見出す力/正解のない課題に向き合い続ける力/協同して課題を解決する力

探究メンターによる 大学・地域・企業・行政

〔探究支援〕 × 〔連携協力体制〕  
 探究発表へ フィードバック  
 コンソーシアムと 探究を共創

地域  
 (コミュニティ)

行政  
 (まちづくり)



大学  
 (アカデミック)

企業  
 (ソーシャル)

学校と関係機関を繋ぐ  
 「学びのファシリテーター」  
 高校コーディネーターが常駐！



## 「都市部での探究を軸とした教育システム」の開発を推進。R8年度からグローバル探究(4単位)として本格実施。

### 令和7年度の目標

生徒の主体性を育成する「チーム担任制」の運営

「探究」の基礎力を育成する学校設定科目「未来計画」の後期プログラムをコンソーシアム連携型へと発展

令和8年度実施予定「グローバル探究」の計画及び支援システムの構築

主体的に学習に取り組む力を測定する新尺度の開発と試験導入

### 令和7年度の実施状況

80人の生徒に4人教員がつく(内担任3人)ポッド制を導入し、生徒への面談等をローテーションを組んで行った。各教員の得意分野を生かして生徒に伴走した。教員の年次有給休暇等の取得促進や生徒指導スキルの向上に寄与した。

コンソーシアムと連携した「TGC(タンキウグローバルコラボレーション)」で地域課題解決と地域魅力発信を行った。地域・行政・企業と探究プログラムを共同開発し、成果を地域社会へ還元するシステムの基礎を構築した。

4単位の探究学習を充実させる支援システム(プロボノメンター登録システム、チーム担任チューター制、専門コース制、探究教材 inspire high)の導入により、生徒の自律的な学びを推進する。

県立広島大学の向居教授らと共同開発を進め、高校生の主体的に学習に取り組む態度・協働スキル・自己効力感などを測定することを目指した。ICTを活用し、自校の生徒に対し「主体的に学習に取り組む力 質問紙(高校生用・β版)」の回答を実施した。

### 令和7年度の○成果と●課題

- 「探究を軸とした教育課程」を教員の負荷をできるだけ抑えながら、かつ生徒が自走しやすい仕組みで実現するための構想を固めることができた。
- コンソーシアム連携型プログラム(TGC)の実施によって、地域・学校関係者と「探究における共創関係」の構築を実現し、地域魅力発信カレンダー贈呈など、地域社会へ成果を還元した。
- 高校生の「主体的に学習に取り組む力」を定量的に測定する尺度の開発と評価を実施した。

- 組織的かつ、きめ細かな教育活動の広報を行う。
- 「学びの自走」「ロールモデルとの出会い」等をキーワードとしたキャリアデザインの構築が急務である。
- チーム担任制に対応した学年職員室や探究学習を推進するための環境を充実させる。

# 【鹿児島県立種子島中央高等学校】ミライデザイン科（令和6年度設置）

## 目的

「デジタル技術」を活用し、社会生活を変革できる資質・能力を身につけ、次世代（デジタル社会）を創造する人材を育成する。

## 教育の概要

自ら課題を発見し、解決までの過程を筋道立てて構築する力（**デザイン思考**）と、課題解決のための有効的な手段として、目的に応じてデジタルツールを適切に選択・活用できる力（**デジタル技術**）を育成する。

## 育成する能力・資質

### デザイン思考

- ・課題発見力
- ・課題解決力
- ・コミュニケーション力
- ・創造的思考力等

### デジタル技術

- ・データ分析
- ・ICT機器の活用
- ・生成AIの活用
- ・情報発信力等



**デジタル人材**

## 令和7年度の取組・次年度の課題

### 学校設定科目「DX」の実施

#### 【主な取組】

- ・学校設定科目「DX」の実施・内容修正
- ・3年次のカリキュラムの作成
- ・研究3年次に実施する学校設定科目「データ数学」
- ・「コ・クリエイト音楽」「コ・クリエイト美術」のカリキュラムを策定
- ・デジタル分野のコンテスト・発表会へ参加

#### 【課題】

- ・外部講師の選定、日程調整
- ・自治体・地元企業との連携強化

### ルーブリックの開発

#### 【主な取組】

- ・「デザイン思考」「デジタル技術」の習得が期待される資質、能力を明確化したルーブリックを作成
- ・生徒の実態に応じてルーブリックの内容や評価の時期等を再考及び検証する
- ・AIを活用した「非認知能力」の評価

#### 【課題】

- ・デジタルツールを活用し、ポートフォリオの作成や記述式の評価の実施を行う
- ・専門家の助言を反映させた評価内容の検討する

### 新しい学び「デザイン思考」について

#### デザイン思考5つのプロセス

- 共感** クライアントが何を不満に感じ、何を必要としているのか見抜く
- 定義** クライアントの潜在的な課題を定義する
- 概念化** 解決するアイデアやアプローチ手法を考える
- 試作** 時間やコストをできるだけ掛けずに、とりあえず一度、形にしてみる
- 検証** 試作品のテストを繰り返し、フィードバックされた意見をもとにブラッシュアップ

### 教科横断型授業の取組

#### 【主な取組】

- ・生徒の探究的な視点を養うことを目的とした「教科横断型授業」の実施

#### 【課題】

- ・職員研修等を通して、教科横断型授業の目的や利点等を職員全員で共有する
- ・教科横断型の学びの機会を増やし、様々な角度から物事を捉える探究的な姿勢を持った生徒の姿を共有する

### 職員研修の実施

#### 【主な取組】

- ・全職員に「デザイン思考」と「デジタル技術」の研修会を実施
- ・「デジタル技術」の研修において、生成AIに触れることによる職員の理解度の深化
- ・最先端のICT機器に触れることによる知識の更新

#### 【課題】

- ・「デザイン思考」についての職員参加型のワークショップを実施

### 成果普及・情報発信

#### 【主な取組】

- ・中種子町立歴史民俗資料館において、企画展「ミライの種子島2」展を開催し、作品や成果物を展示
- ・一日体験入学や学校訪問で来校した中学生に対し、生徒による学科紹介を実施
- ・公式インスタグラムの運用
- ・コンテスト等への参加により、本学科の取組を発信
- ・地域イベントに参加したり、町内報に取組を掲載したりして情報を発信